“ふるさとちば”のための政策推進を

伊藤まさひろ県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855　千葉市中央区市場町２番13号　電話 043（227）7411

台風25号で高崎川氾濫

一層の河川整備を要望

台風25号、及び千葉豪雨で被災した方々に心からお見舞いを申し上げます。

９月21日午後９時ごろ、千葉県に接近した台風25号による大雨のため、佐倉市の高崎川が氾濫しました。あふれ出た水は住宅地に流れ込み、多くの民家が浸水被害を被りました。

私、伊藤昌弘は台風25号襲来に先立って９月15日、定例県議会で一般質問に立ち、印旛沼及び高崎川などの周辺河川の治水対策について質問し、県担当者の答弁を聞いたばかりでした。

氾濫の原因として、「予想を上回る大雨で、印旛沼の事前排水が間に合わなかった」などと言われています。今後、氾濫の原因を様々な角度から検証し、大雨に耐える河川・湖沼整備を担当部署に強く要望してまいります。



冠水したＪＲ佐倉駅前

９月定例県議会一般質問

18校の県立高校で雨水貯留浸透施設

伊藤議員　印旛沼流域の学校貯留の進捗状況はどうか。

県土整備部長　雨水貯留浸透施設の設置を計画している県立高校は18校であり、うち12校で設置が完了し、今年度は、佐倉西高校において工事に着手する予定です。

今後は、流域内の未整備の県立高校についても順次整備を進め、引き続き印旛沼流域における浸水被害の軽減に努めてまいります。



河川整備などについて質問する伊藤昌弘県議

要望　伊藤議員　近年の気候変動を踏まえると、学校貯留は重要であると認識した。引き続き整備を推進するよう強く要望する。

千葉豪雨で農業被害

営農再開へ支援を

伊藤議員　千葉豪雨では、佐倉市においても、農地や農業用施設へ深刻な被害が発生した。

農地や農業用施設は、一度被災すればその復旧に多大な時間と労力を要するだけでなく、その間の営農活動の中断など、農業経営への影響は図りしれない。

地域の基幹産業である農業を守り、農業者が希望を持って営農を再開できるよう、県として被害状況を的確に把握し、一刻も早く、復旧に向けた支援を進めていかなくてはならないと考える。

そこでうかがうが、佐倉市の農地・農業用施設の被害に対して、県はどのように支援していくのか。

農林水産部長　今回の豪雨災害において、佐倉市内では、農地への土砂の流入や臼井田揚水機場などの農業用施設が水没する被害が発生し、被害状況は、９月８日時点で、農地が６箇所、揚水機場や水路などの農業用施設が55箇所、被害額は約14億３千８百万円となっています。

県では、発災直後より、国の専門チームの支援を受けながら、市や土地改良区と連携して、個々の被害状況を調査するとともに、復旧方針の検討を行ってきました。

今後は、市や土地改良区に対し、災害復旧に活用できる国の補助制度について周知を図るとともに、来春の作付けに間に合うよう、被災した農地や農業用施設の早期復旧に向け、復旧方法などの技術的な支援を実施してまいります。

要望　伊藤議員　農業者が安心して営農を再開できるよう、一刻も早い復旧に向けて、地元に寄り添った積極的な支援を要望する。

伊藤まさひろ・PROFILE

略　歴

- ◆昭和30年　佐倉市に生まれる
- ◆昭和53年　日本大学法学部卒業
- ◆平成７年　佐倉市議会議員当選
- ◆平成11年　佐倉市議会議員再選
- ◆平成19年　千葉県議会議員当選
- ◆平成23年　千葉県議会議員再選
- ◆平成27年　千葉県議会議員３選
- ◆平成31年　千葉県議会議員４選
- ◆令和５年　千葉県議会議員５選

現　職

- ◆印旛沼水質保全協議会　顧問
- ◆農政審議会　委員
- ◆佐倉リトルシニア野球協会　会長

●県政や佐倉市・酒々井町のまちづくりに関する悩みごと、気軽にご相談ください!!

伊藤まさひろ県議事務所　〒285-0811　佐倉市表町３−６−28
TEL.043−485−8019
FAX.043−486−1616

HPもご覧下さい…　検索　ちば自民党　➡　議員リスト　➡　県議会議員　➡　佐倉市・酒々井町

県経済けん引地域への産業集積

全県に経済効果波及へ

伊藤議員　「成田空港第２の開港プロジェクト」が進展するなど、千葉県のポテンシャルがますます高まっている。こうした機会を捉え、県では本県経済をけん引する地域として、５つの地域において、重点的な取組を行っていると聞いている。

企業誘致においては、令和７年度の立地企業補助制度の拡充により、これらの地域への補助上乗せを行うなど、戦略的に取り組んでいることについては、評価をしている。

一方で、私の地元である佐倉市や酒々井町をはじめ、東関東自動車道沿線の地域などは、産業集積を図る上で重要なエリアであるにもかかわらず、県経済けん引地域に含まれず、立地企業補助金の上乗せ対象になっていない。

広域自治体である県としては、県経済けん引地域以外のエリアにも目配りをし、県内各地域の活性化につなげることが必要と考える。

そこでうかがうが、成田空港周辺地域などの県経済けん引地域のみならず、全県に波及させていくことが重要と考えるが、県としては具体的にどのように取り組んでいるのか。

商工労働部長　成田空港や北千葉道路周辺地域など県経済をけん引する地域への産業集積により、雇用や地元企業との取引の拡大等を図り、その経済効果を県内全域に波及させることは、本県経済の発展にとって重要であると認識しております。

そのため県では、市町村が実施する産業用地整備について、適地調査の段階から支援するほか、立地企業補助金において、県経済けん引地域における立地に対して、上乗せ補助を行っています。また、人口減少地域等においては、補助要件を緩和するなど、県内全域で企業立地が進むよう、きめ細やかな対応を行っているところです。

引き続き、立地企業補助金を積極的に活用し、市町村とも連携しながら、地域の特性に応じた企業誘致を力強く推進し、その効果が県内全域に波及するよう努めてまいります。



県の施策について要望する伊藤県議

介護支援専門員の安全確保

複数人訪問の経費補助

伊藤議員　介護支援専門員の安全確保対策について、県はどのように取り組んでいくのか。

健康福祉部長　介護支援専門員は、一人で利用者宅を訪問することが多く、密室で暴力やハラスメントを受ける危険性があることから、介護支援専門員の安全を確保し、安心して働きつづけられる環境を整備することが重要です。

県では、本年４月から訪問介護従事者が利用者やその家族などからの暴力やハラスメントについて直接相談できる窓口を設置しており、さらに７月からは介護支援専門員からの相談も受け付けているところです。

また、介護支援専門員の安全確保に取り組む事業所を支援するため、介護支援専門員が利用者宅に複数で訪問する際の経費のほか、防犯ブザーや通話記録装置などの導入経費に助成することとしており、これらの取組を通じて、介護支援専門員が安心して働き続けられる環境づくりを支援してまいります。

要望　伊藤議員　県においては、現場の声を聴きながら、介護支援専門員が安心して働ける環境づくりを進めるとともに、地域の支援機関等とも連携して、経営改善の取組を支援する体制をしっかりつくり、今後も介護現場を支えていただくよう要望する。

要望　伊藤議員　業補助金の上乗せ対象となっていない地域に対しても企業誘致による効果が広がるよう、県の支援の一層の充実・強化を要望する。

着々と進む道路整備

八千代バイパス全面開通目指す

伊藤議員　国道２９６号八千代バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長　当該道路は、国道２９６号の交通混雑の緩和を図るため、佐倉市と八千代市にまたがる５・２キロメートルをバイパスとして整備するのであり、これまでに３・７キロメートルを供用しています。

残る八千代市内の１・５キロメートル区間では、現在、地元市とも連携し、残る用地の取得に努めるとともに、（仮称）上高野１号橋の下部工事や（仮称）上高野２号橋の床版工事などを進めているところです。

要望　伊藤議員　開通には、多数の権利者がいる土地もあると聞いている。複雑で大変な作業だと思うが、一日も早い全面開通を望んでいるので、用地の取得を進めていただくよう要望し、開通を期待している。

田町バイパス整備　鉄道との交差区間　跨線橋の設計着手

伊藤議員　県道佐倉印西線田町バイパスの進捗状況はどうか。

県土整備部長　田町バイパスは、線形不良の解消と交通混雑の緩和を図るため、佐倉市田町地先から岩名地先までの１・５キロメートルで、現道拡幅やバイパス整備を進めています。

現在、鉄道と交差する区間について、鉄道事業者から示された将来の軌道位置等の条件に基づき、道路の高さ等を検討しているところであり、今後、鉄道を跨ぐ橋梁について、位置や構造を決める設計に着手するなど、事業の推進に努めてまいります。

要望　伊藤議員　懸案であった鉄道と交差する区間について、今後、鉄道を跨ぐ橋梁の設計に着手するという、長い期間、様々なことがあり、プロセスを経てやっとここまできたという感がある。ぜひとも早期に進めていただき、事業を推進していただくよう強く要望する。

宗吾酒々井線　酒々井地先の通学路安全確保へ歩道整備

伊藤議員　県道宗吾酒々井線酒々井町酒々井地先における歩道整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長　当該路線の酒々井町酒々井地先については、小学校の通学路となっていますが、歩道が未整備で路肩も狭いことから、歩行者の安全を確保するため、延長８００メートルの区間で両側歩道の整備を行っています。

これまでに、延べ３１０メートルの歩道整備が完了しており、昨年度にまとまった用地が取得できたことから、今年度は、約45メートルの歩道を整備する予定です。

引き続き、残る用地の取得を進め、事業の推進に取り組んでまいります。

要望　伊藤議員　子供たちが安心して学校に通学できる安全な道路となるよう、早急な事業推進を強く要望する。

墨入口交差点の改良　右折レーンなど整備　国道２９６号

伊藤議員　国道２９６号墨入口交差点改良の取組状況はどうか。

県土整備部長　当該交差点については、南側で接続する県道富里酒々井線が大型商業施設や酒々井インターチェンジへ通じ、北側においても、住宅地やＪＲ酒々井駅に通じていることから、交通が集中しています。

このため、県道富里酒々井線の右折レーン設置を含む交差点改良を進めることとし、現在、交差点の形状について警察など関係機関と協議を行うとともに、今年度、詳細設計を実施する予定です。